

(単位：千円)

決算書 (P498～P499)	1 款 1 項 1 目 下水道総務費	所管課等	生活排水対策課
事業名	排水設備設置促進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
13,683	11,756	2,082			9,674 (使用料、手数料、諸収入)	
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,927				1,927	

【目的】

- ・ 供用区域における排水設備の設置を促進することにより、生活環境の改善、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・ 生活排水処理推進員が新規供用区域の世帯を訪問し、早期接続を促すとともに、供用済区域の未接続世帯を訪問し、接続相談や助成制度など支援制度を周知するほか、接続率が低い地区や供用開始から3年以内の地区に対し重点的に訪問することにより、接続率の向上を図る。

○実施内容、これまでの経過等

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
生活排水処理 推進員	推進員数	2	2	3
	訪問件数	7,572	8,597	9,657
	接続件数	138	187	285
排水設備設置費 助成金	生活保護世帯	件数	0	0
		金額(円)	0	0
	住民税非課税世帯	件数	11	6
		金額(円)	1,064,000	487,000
	共同管設置	件数	2	0
		金額(円)	934,000	0
合計	件数	13	6	
金額(円)	1,998,000	487,000		
排水設備設置 資金融資	預託件数	46	44	
	預託金額(円)	6,030,119	5,107,852	
	うち新規	件数	5	7
		金額(円)	1,310,000	1,090,000
利子補給補助金	補助件数	28	30	
	補助金額(円)	102,927	97,418	
公共下水道接続率(%)		94.8	95.1	95.5

決算書 (P 498～P 499)	1 款 1 項 1 目 下水道総務費	所管課等	生活排水対策課
事業名	排水設備設置促進事業		

○目標達成状況

- ・生活排水処理推進員 1 名を増員し、新規供用区域や供用済区域の未接続世帯への戸別訪問はもとより、接続率が低い地区や供用開始から 3 年以内の地区を重点的に訪問したことにより、接続率の低い大潟区で 1.5 ポイント、頸城区で 1.7 ポイント増加し、全体では平成 30 年度比 0.4 ポイント増の 95.5%とすることができた。

【事業の成果】

- ・接続率の向上により、生活環境の改善、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全に寄与することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・供用開始後速やかに接続していただくため、整備予定地域の事業説明会において下水道事業の概要や工事の予定時期等の情報を提供するとともに、引き続き、生活排水処理推進員による訪問効果の高い供用開始から 3 年以内の地区や接続率が低い地区で重点的に活動を展開し、接続率の向上に努める。

【執行残額について】

○その他	1,927
・実績が見込みを下回ったもの	1,492
共済費	334
旅費	13
需用費	72
役務費	78
使用料及び手数料	47
負担金補助及び交付金	273
貸付金	675
・特例的支出（令和 2 年度下水道事業会計予算）に計上したもの	435

(単位：千円)

決算書 (P500～P501)	1款1項2目 下水道センター運転 管理費	所管課等	生活排水対策課
事業名	下水道センター運転管理費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
677,890	612,491				612,421 (使用料、財産収入、譲収入)	70
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	65,399			5,988	59,411	

【目的】

- ・家庭及び事業所から排出される汚水を適正に処理することにより、公共用水域の水質の保全に資する。あわせて処理工程で生じる下水汚泥を再資源化することにより、環境の保全及び資源の有効利用を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・下水道法に基づく施設の適正な運転管理により、水質汚濁防止法等の放流水の水質基準を遵守するとともに、自主基準を達成する。
- ・汚泥発生量の抑制による処分費の節減を図るとともに、全量再資源化を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・下水道センターほか6か所の浄化センターの適正な運転管理により放流水質の維持に努めるとともに、効率的な運転により発生汚泥量の抑制に努めた。

○目標達成状況

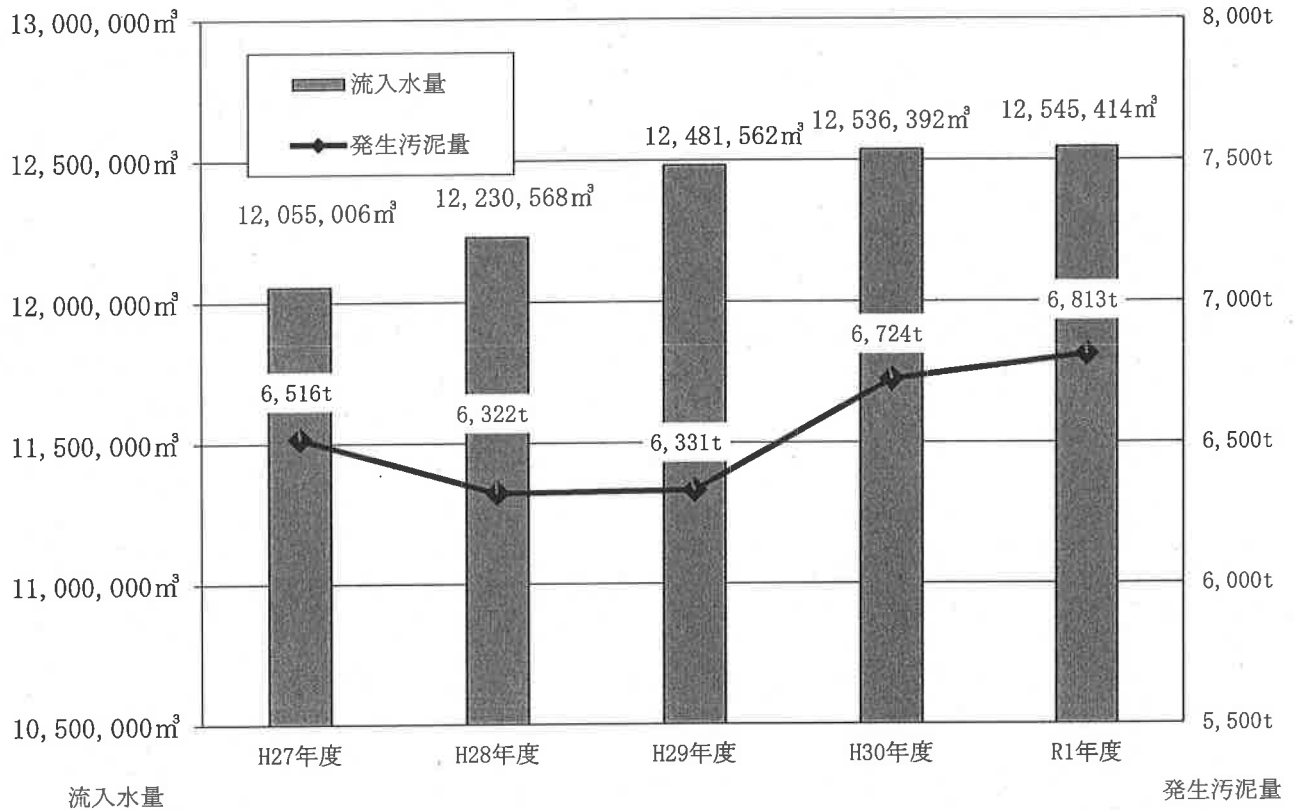
- ・適正な運転管理により全てのセンターにおいて法令基準及び自主基準に適合した。また、汚泥処分費の節減を図るとともに全量を再資源化し目標を達成した。

【事業の成果】

- ・汚水を適正に処理し公共用水域の水質を保全した。併せて、汚泥の全量再資源化により資源の有効利用を図った。

決算書 (P500～P501)	1款1項2目 下水道センター運転 管理費	所管課等	生活排水対策課
事業名	下水道センター運転管理費		

・流入水量と発生汚泥量



【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・放流水質の維持及び発生汚泥量の抑制等を図りながら、効率的な運転を行うことにより引き続き経費を削減していく。
- ・下水道センター長寿命化計画により計画的に施設の長寿命化対策を実施し、効率的な運転と施設の安定稼働を図る。

【執行残額について】

○入札差金	5,988
需用費	5,988
○その他	59,411
・実績が見込みを下回ったもの	16,401
旅費	9
需用費	10,647
役務費	52
委託料	5,542
使用料及び賃借料	145
備品購入費	1
負担金補助及び交付金	5
・特例的支出(令和2年度下水道事業会計予算)に計上したもの	43,010

(単位：千円)

決算書 (P500～P501)	1款1項3目 管渠維持管理費	所管課等	生活排水対策課
事業名	管渠維持管理費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
160,486	128,698	18,000		2,000	94,933 (使用料、譲収入)	13,765
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	31,788			2,653	29,135	

【目的】

- ・管路施設の適切な維持管理に努めるほか、老朽化に伴う施設の更新を計画的に実施する。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・道路陥没等の事故を未然に防ぐため、管渠調査を実施し、老朽化や漏水の状況を把握することにより、管路施設を適切に維持する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・管渠の修繕や清掃等の実施により、施設の適切な維持管理を行った。
- ・主な実施内容

項目	令和元年度		内容
	件数	金額	
修繕料	85	29,644	舗装、マンホールポンプ等の修繕
施設管理委託	9	24,210	マンホールポンプ維持管理他
下水道台帳作成委託	7	8,682	下水道(汚水)台帳作成
管渠清掃委託	9	1,232	汚水管渠の清掃
管渠調査委託	8	32,164	汚水管渠の調査
下水道管渠修繕工事	4	6,742	汚水管渠の移設、マンホール蓋の取替工事

○目標達成状況

- ・管渠破損による道路陥没や漏水を未然に防ぎ、管渠の適切な維持管理を行うことができた。

【事業の成果】

- ・管渠施設の定期点検や調査、清掃等の実施により、適切な維持管理を図るとともに老朽化した施設の計画的な更新を行うことができた。

決算書 (P500～P501)	1款1項3目 管渠維持管理費	所管課等	生活排水対策課
事業名	管渠維持管理費		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・公共下水道は、設置から30年以上経過した施設があることから、引き続き、老朽化したマンホール蓋の取替えなど施設の更新を計画的に進めていく必要がある。

【執行残額について】

○入札差金	2,653
委託料	2,653
○その他	29,135
・実績が見込みを下回ったもの	11,770
旅費	1
需用費	6,100
役務費	122
委託料	2,125
使用料及び貸借料	3,279
工事請負費	8
原材料費	134
公課費	1
・特例的支出（令和2年度下水道事業会計予算）に計上したもの	17,365

(単位：千円)

決算書 (P500～P501)	1款1項3目 管渠維持管理費	所管課等	生活排水対策課
事業名	雨水管理費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
49,146	46,954					46,954
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2,192				2,192	

【目的】

- 雨水幹線等の排水機能を確保し、豪雨時における内水被害の軽減を図るため、適切な維持管理を行う。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- 雨水幹線及び排水樋門等の点検及び修繕を実施し、適切に維持する。

○実施内容、これまでの経過等

- 雨水幹線の修繕や清掃等の実施により、施設の適切な維持管理を行った。
- 主な実施内容

項目	令和元年度		内容
	件数	金額	
修繕料	19	15,743	雨水幹線等の修繕
施設管理委託	1	994	マンホールポンプ維持管理
下水道台帳作成委託	2	5,720	下水道(雨水)台帳作成
管渠清掃委託	47	20,214	雨水幹線及び排水樋門の土砂撤去等
備品購入費	1	1,577	排水用ポンプ購入(2台)

○目標達成状況

- 排水樋門等の点検やパトロール、修繕や清掃等の実施により、雨水幹線の排水機能に支障を来さない適切な管理を行うことができた。

【事業の成果】

- 雨水幹線の修繕や清掃等の実施により適切な維持管理を行うとともに、豪雨時における排水ポンプの事前設置により内水被害の軽減に努めた。

決算書 (P500～P501)	1 款 1 項 3 目 管渠維持管理費	所管課等	生活排水対策課
事業名	雨水管理費		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・豪雨時の内水被害の軽減に向け、引き続き、排水樋門等の点検やパトロールを実施し雨水幹線や排水樋門等の適切な維持管理を行う。

【執行残額について】

○その他	2,192
・実績が見込みを下回ったもの	1,599
需用費	668
役務費	6
委託料	812
使用料及び賃借料	90
原材料費	1
備品購入費	22
・特例的支出（令和2年度下水道事業会計予算）に計上したもの	593

(単位：千円)

決算書 (P502～P503)	1 款 2 項 1 目 公共下水道事業費	所管課等	下水道建設課
事業名	下水道計画策定事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
12,131	12,108				12,108 (負担金)	
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	23				23	

【目的】

- ・下水道全体計画に基づき下水道事業計画を変更し、事業の進捗を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・委託業務を早期に発注し、年度内に完了する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・上越市公共下水道(上越処理区)事業計画変更業務委託
 - 汚水 … 汚水管渠整備の進捗に合わせた事業計画区域変更
 - 雨水 … 雨水管渠計画の変更に必要な資料作成

○目標達成状況

- ・委託業務を早期に発注し、年度内に完了したことから、目標を達成できた。

【事業の成果】

- ・上越処理区の事業計画を変更し、令和10年度の概成に向けて事業の進捗を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・汚水については、令和10年度の概成を目指し、また、雨水については、雨水管理総合計画に基づき、着実に整備を進めていくため、下水道事業経営戦略と整合を図りながら、事業計画区域等の変更を行っていく必要がある。

【執行残額について】

○その他	23
・実績が見込みを下回ったもの	23
旅費	4
使用料及び賃借料	19

(単位：千円)

決算書 (P502～P503)	1款2項1目 公共下水道事業費	所管課等	生活排水対策課
事業名	下水道センター機能高度化事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
192,661	192,596	102,089		57,100	33,407 (負担金、繰越金)	
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	65		13		52	

【目的】

- ・上越市下水道ストックマネジメント計画に基づき、設備の計画的な改築・更新を行い、施設全体の長寿命化を図り安定的な汚水処理を行う。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・中央監視設備改築工事及び業務委託については、早期に発注し、計画どおりに完了する。

○実施内容、これまでの経過等

委託名	金額
分水槽耐震補強工事实施設業務委託〔繰越明許〕	13,530
公共下水道ストックマネジメント基本計画策定業務委託	60,610
中央監視設備改築工事監理業務委託	2,020

工事名	金額
中央監視設備改築(電気設備その21)工事	116,380

○目標達成状況

- ・中央監視設備改築工事及び業務委託については、第2四半期に入札し、当初計画どおり完了することができた。

【事業の成果】

- ・公共下水道ストックマネジメント基本計画策定により、処理場及びポンプ場の改築更新の進捗が図られ、令和2年度の修繕・改築計画策定につながった。
- ・中央監視設備機器の改築更新が進捗し、処理施設の延命と効率的で安定的な運転につながった。

決算書 (P502～P503)	1 款 2 項 1 目 公共下水道事業費	所管課等	生活排水対策課
事業名	下水道センター機能高度化事業		

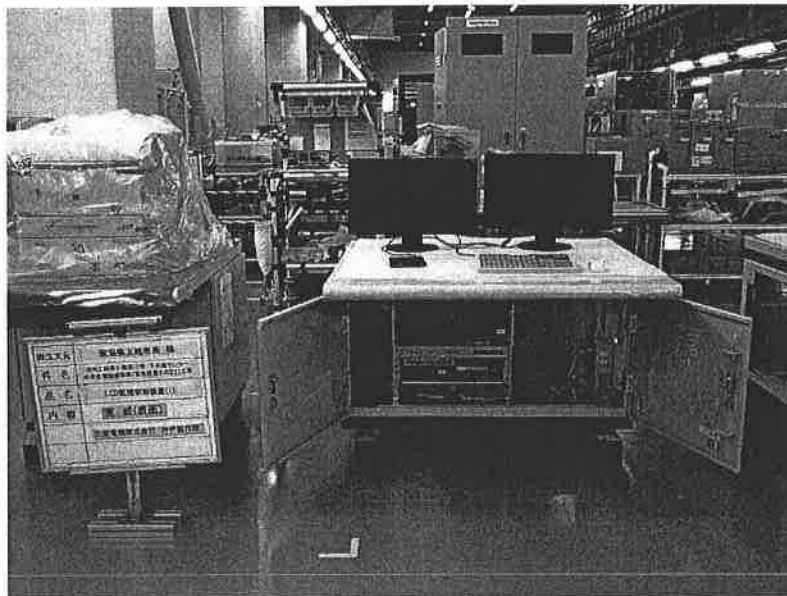
【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・これまでの長寿命化計画から下水道ストックマネジメント計画に円滑に移行し、改築更新工事を切れ目なく実施していかなければならない。
- ・今後、下水道ストックマネジメント計画に基づき、下水道施設全体の維持管理・改築を計画的・効率的に行い、持続的な機能確保とライフサイクルコストの低減を図っていく。

【執行残額について】

○事業未実施	13
使用料及び賃借料	13
○その他	52
・実績が見込みを下回ったもの	52
旅費	50
需用費	1
負担金補助及び交付金	1

〔下水道センター中央監視設備改築（電気設備その21）工事〕



中央監視設備更新

(単位：千円)

決算書 (P502～P503)	1款2項1目 公共下水道事業費	所管課等	下水道建設課
事業名	公共下水道汚水整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,309,646	3,275,990	820,946		2,261,900	162,893 (貸入金繰入金)	30,251
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	33,656				33,656	

【目的】

- ・悪臭や害虫の発生源を排除するため、汚水管渠を整備し、衛生的で快適な生活環境に改善を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・公共下水道全体計画に対し整備面積ベースの進捗率を67.7% (前年比+0.9%) にする。

■上越汚水整備事業 2,700,312

○実施内容

◇平成30年度繰越明許分

- ・汚水工事 ϕ 150～200mm L=1,184.3m

◇令和元年度分

- ・実施設計業務委託 ϕ 150～200mm L=3,205.0m
- ・地質調査業務委託 ϕ 66mm N=2孔
- ・基本設計業務委託 A=27.0ha
- ・汚水工事 ϕ 150～300mm L=8,248.3m
- ・接続柵設置工事 N=402か所
- ・舗装本復旧工事 A=32,416.9㎡
- ・物件移転補償 ガス管、水道管ほか N=27件

○これまでの経過等

- ・全体計画 昭和53年度～ 全体計画面積 A=3,977.8ha
- ・事業計画 昭和54年度～令和6年度 事業計画面積 A=3,305.6ha
- 整備済面積 A=2,549.1ha (令和2年3月末)

■柿崎汚水整備事業 232,155

○実施内容

- ・実施設計業務委託 ϕ 75～150mm L=2,953.7m
- ・地質調査業務委託 ϕ 66mm N=4孔

決算書 (P502～P503)	1 款 2 項 1 目 公共下水道事業費	所管課等	下水道建設課
事業名	公共下水道汚水整備事業		

- ・市場価格調査業務委託 一式
- ・汚水工事 $\phi 75\sim 200\text{mm}$ L=843.5m
- ・接続柵設置工事 N=4 か所
- ・舗装本復旧工事 A=2,748.7 m²
- ・物件移転補償 ガス管、水道管ほか N=4 件

○これまでの経過等

- ・全体計画 平成4年度～ 全体計画面積 A=297.3ha
- ・事業計画 平成6年度～令和7年度 事業計画面積 A=257.5ha
- 整備済面積 A=245.0ha (令和2年3月末)

■大瀉汚水整備事業 343,523

○実施内容

- ・基本設計業務委託 A=34.8ha
- ・汚水工事 $\phi 150\sim 200\text{mm}$ L=1,400.7m
- ・接続柵設置工事 N=20 か所
- ・舗装本復旧工事 A=9,638.2 m²
- ・物件移転補償 ガス管、水道管ほか N=13 件

○これまでの経過等

- ・全体計画 平成10年度～ 全体計画面積 A=316.6ha
- ・事業計画 平成14年度～令和2年度 事業計画面積 A=223.0ha
- 整備済面積 A=194.5ha (令和2年3月末)

○目標達成状況

- ・公共下水道全体計画に対する整備面積ベースの進捗率が69.6%になったことから、目標を達成できた。

【事業の成果】

- ・全体計画に対する整備面積ベースの進捗率が、平成30年度決算(66.0%)から3.6ポイント向上したことにより、生活環境の向上及び公衆衛生の改善を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

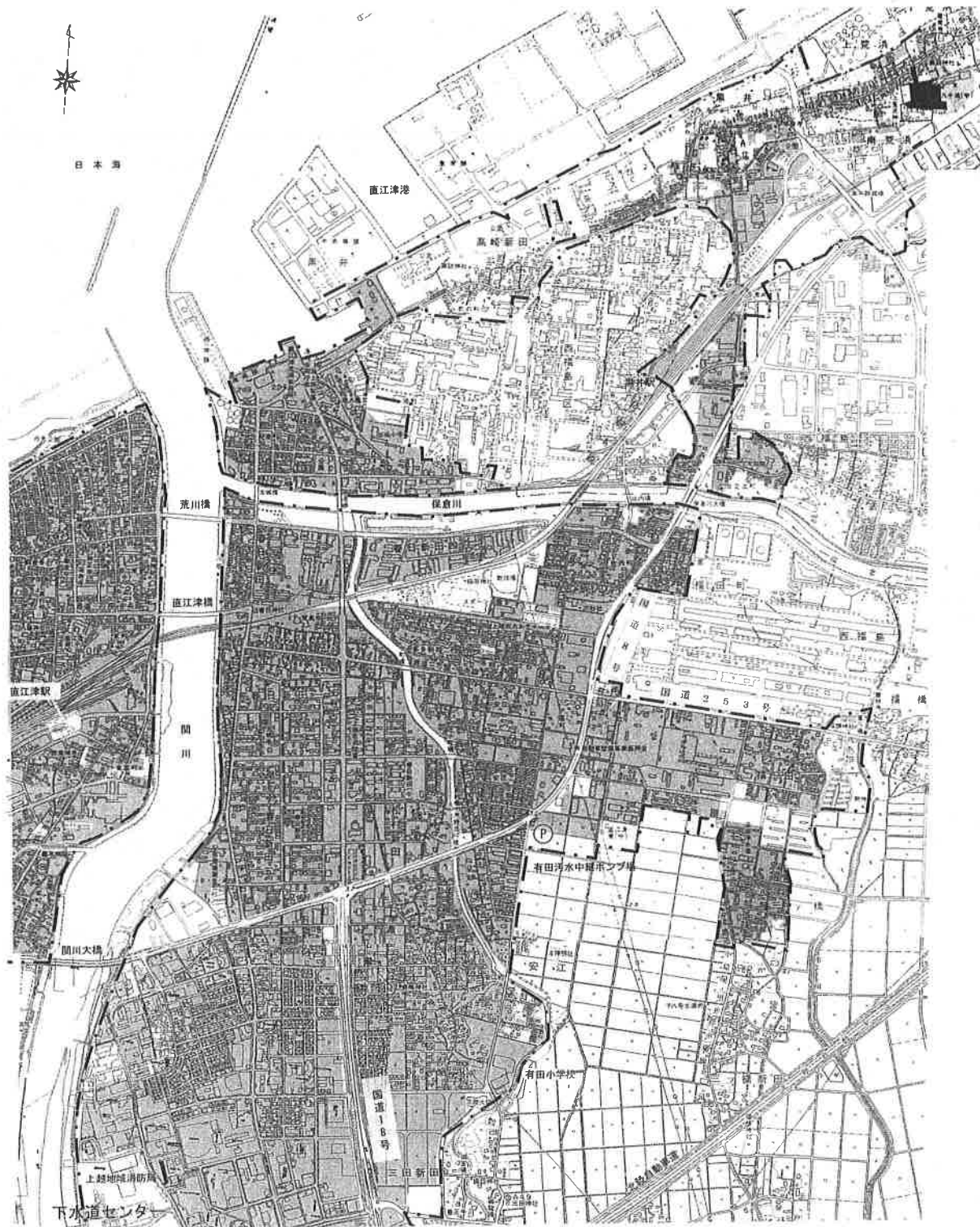
- ・衛生的で快適な生活環境を実現するため、令和10年度概成に向けて、引き続き、適切な工事規模による計画的な発注に努めていく。




決算書 (P502～P503)	1 款 2 項 1 目 公共下水道事業費	所管課等	下水道建設課
事業名	公共下水道汚水整備事業		

【執行残額について】

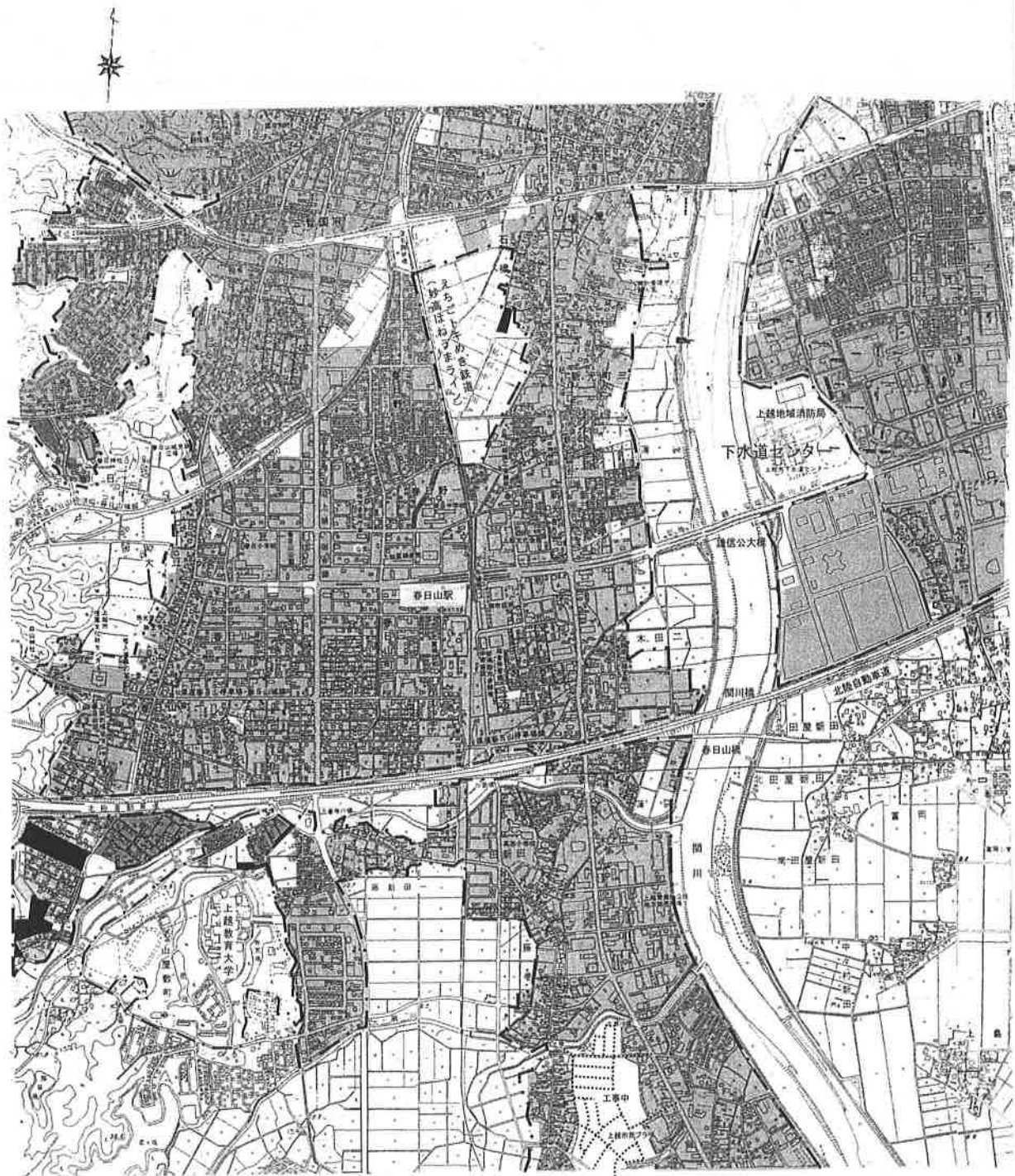
○その他	33,656
・実績が見込みを下回ったもの	30,382
報酬	15
給料	66
職員手当等	800
共済費	84
旅費	24
需用費	276
役務費	88
委託料	1,297
使用料及び賃借料	779
工事請負費	26,834
負担金補助及び交付金	119
・事業実施に伴う端数残	2
補償、補填及び賠償金	1
公課費	1
・特例的支出（令和2年度下水道事業会計予算）に計上したもの	3,272




令和元年度 公共下水道整備箇所図(上越処理区) 1/5



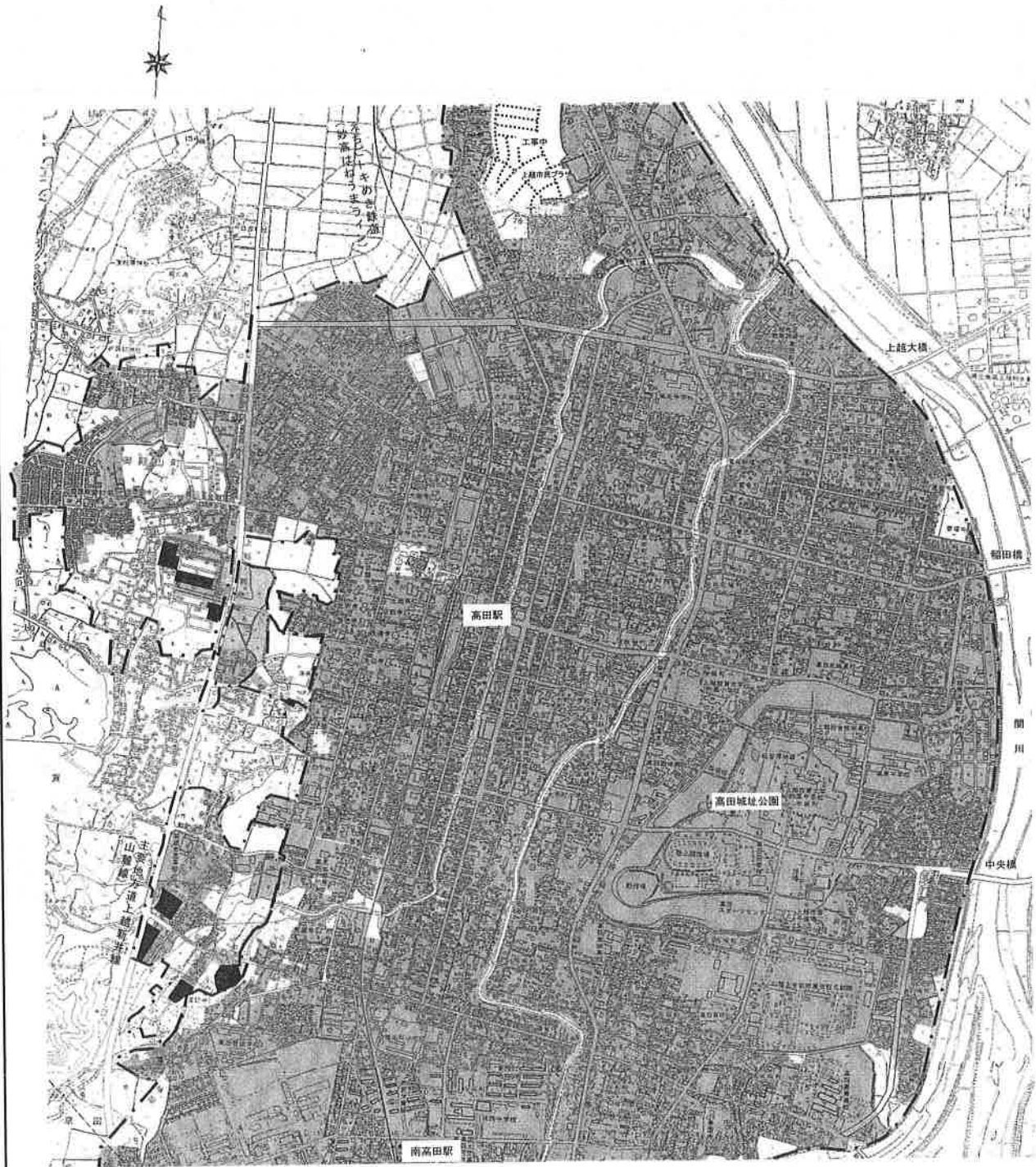
凡 例	
	平成30年度まで施工済箇所
	令和元年度施工箇所
	事業計画区域




令和元年度 公共下水道整備箇所図(上越処理区) 2/5



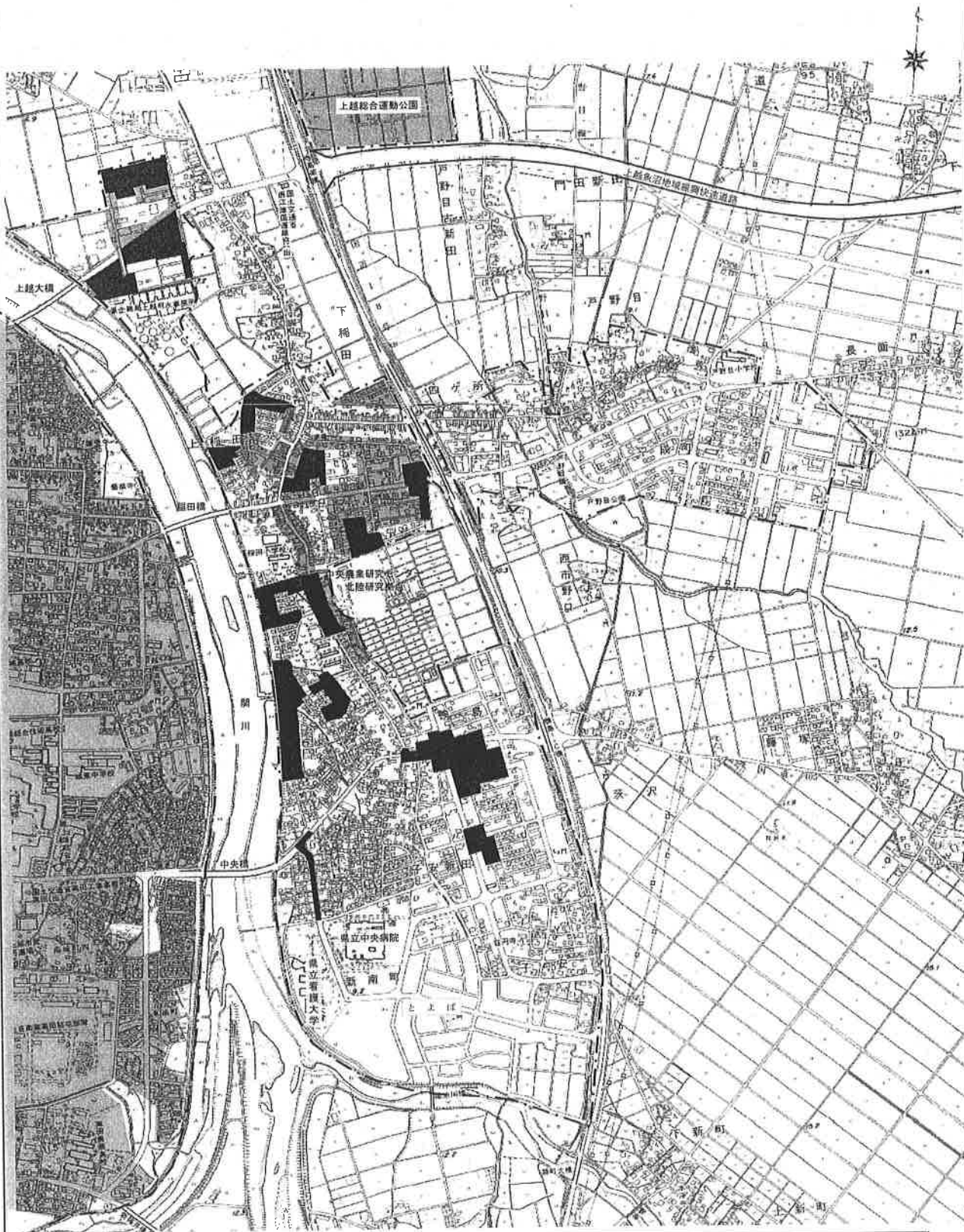
凡 例	
	平成30年度まで施工済箇所
	令和元年度施工箇所
	事業計画区域

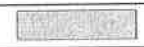


令和元年度 公共下水道整備箇所図(上越処理区) 3/5



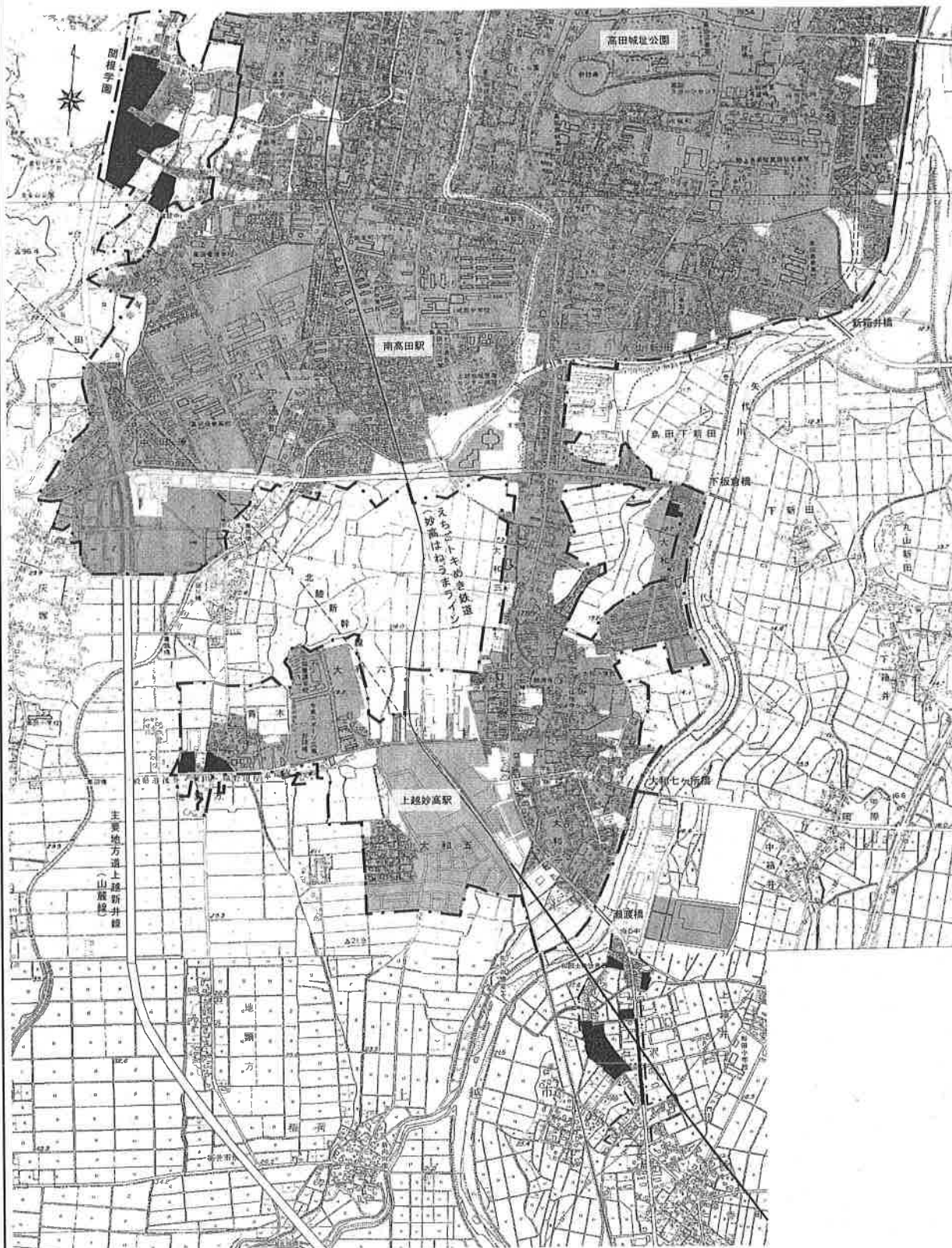
凡 例	
	平成30年度まで施工済箇所
	令和元年度施工箇所
	事業計画区域




令和元年度 公共下水道整備箇所図(上越処理区) 4/5



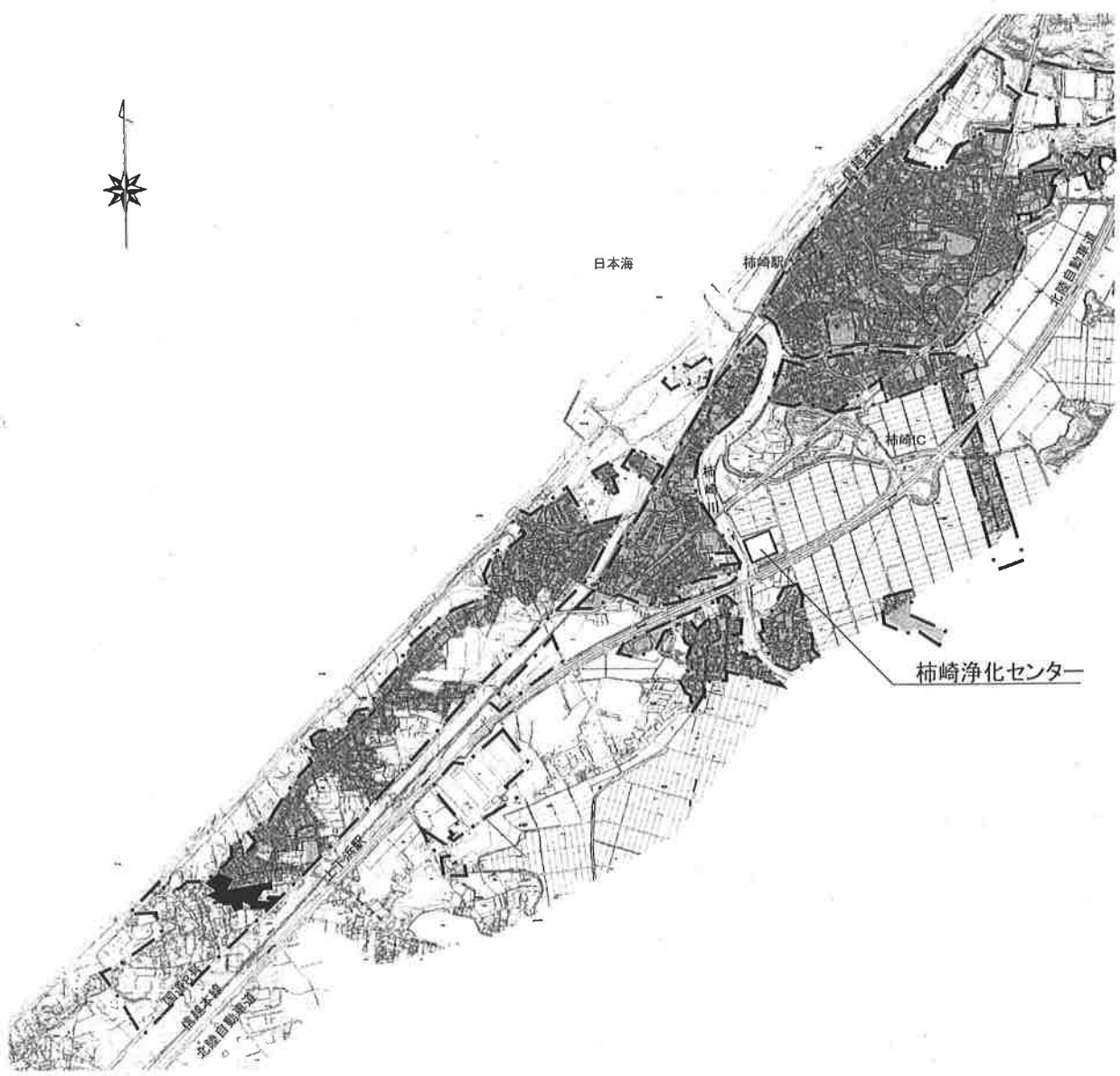
凡 例	
	平成30年度まで施工済箇所
	令和元年度施工箇所
	事業計画区域




令和元年度 公共下水道整備箇所図(上越処理区) 5/5



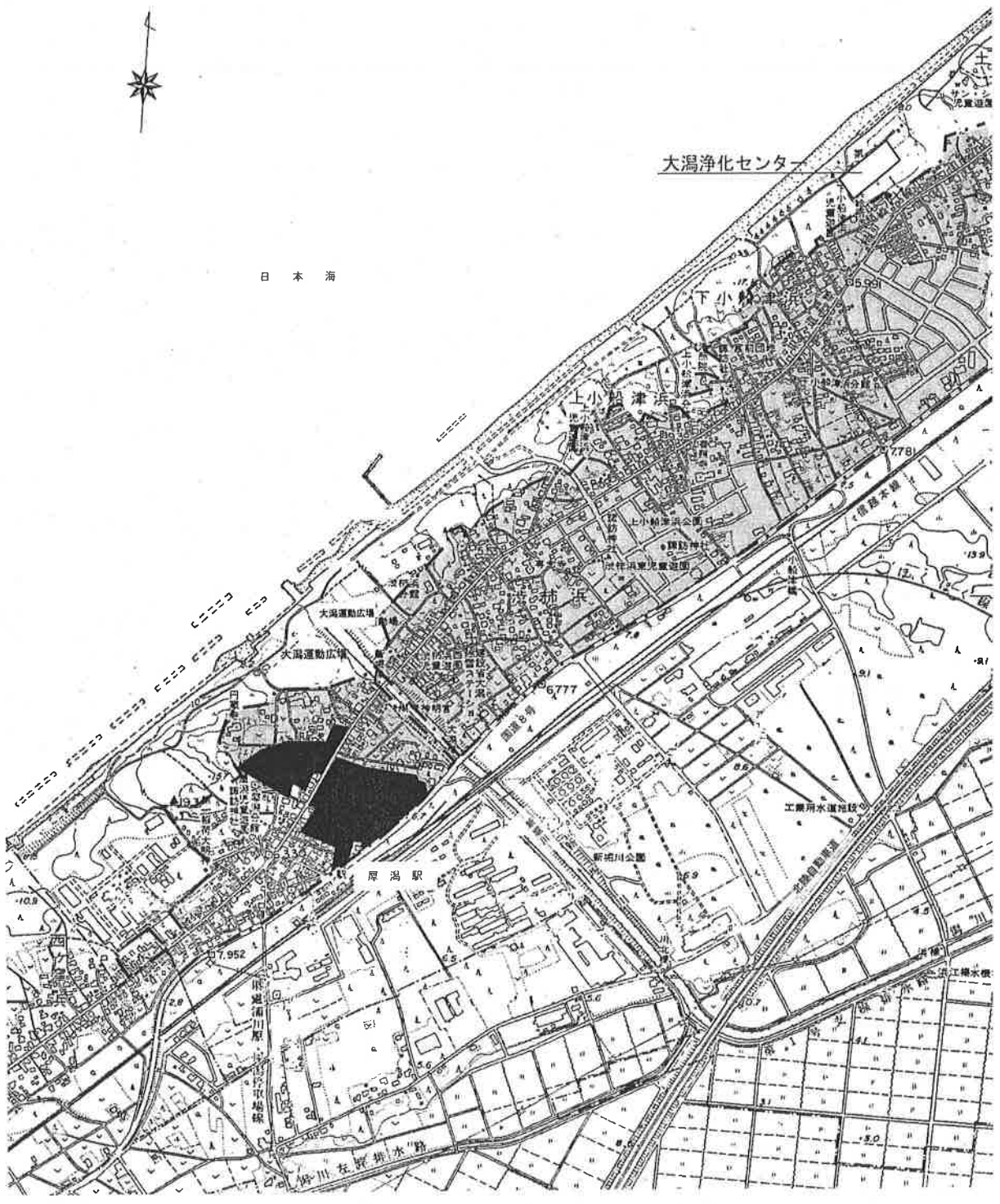
凡 例	
	平成30年度まで施工済箇所
	令和元年度施工箇所
	事業計画区域

令和元年度 公共下水道整備箇所図(柿崎処理区)



凡 例	
	平成30年度まで施工済箇所
	令和元年度施工箇所
	事業計画区域

令和元年度 公共下水道整備箇所図(大潟処理区)



凡 例	
	平成30年度まで施工済箇所
	令和元年度施工箇所
	事業計画区域

(単位：千円)

決算書 (P504～P505)	1款2項1目 公共下水道事業費	所管課等	下水道建設課
事業名	公共下水道雨水整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
880,010	662,887	283,582		368,500	7,084 (繰越金)	3,721
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
185,170	31,953		8,869		23,084	

【目的】

- ・集中豪雨などに対応するため雨水管渠を整備し、浸水被害の軽減を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・雨水工事を早期に発注し、年度内に完了する。
- ・国の補正予算活用分については早期発注に努める。(3月補正追加)

■上越雨水整備事業 350,530

○実施内容

◇平成30年度繰越明許分

- ・雨水管渠実施設計業務委託(本城町、中通町ほか) L=5,038m
- ・軌道横断計画協議資料作成業務委託(五智一丁目) 一式
- ・市場価格調査業務委託(土橋) 一式
- ・雨水管渠新設工事(大貫三丁目、土橋) L=516m
- ・排水樋門新設工事(土橋) N=1か所
- ・マンホールポンプ新設工事(大貫三丁目) N=1か所
- ・物件移転補償 ガス管、水道管ほか N=4件

◇令和元年度分

- ・雨水排水現況調査業務委託(新光町一丁目ほか) A=111ha
- ・雨水管渠新設工事(大和五丁目) L=33m
- ・水位計設置工事(土橋、春日新田二丁目、下源入) N=3か所

○これまでの経過等

- ・全体計画 昭和53年度～ 全体計画面積 A=4,075.3ha
- ・事業計画 昭和54年度～令和6年度 事業計画面積 A=2,905.7ha

決算書 (P504～P505)	1款2項1目 公共下水道事業費	所管課等	下水道建設課
事業名	公共下水道雨水整備事業		

■大潟雨水整備事業 312,357

○実施内容

◇平成30年度繰越明許分

- ・雨水管渠新設工事（九戸浜ほか） L=303m
- ・物件移転補償 ガス管、水道管ほか N=9件

○これまでの経過等

- ・全体計画 平成10年度～ 全体計画面積 A=345.0ha
- ・事業計画 平成14年度～令和2年度 事業計画面積 A=60.7ha

○目標達成状況

- ・当初予算に係る雨水工事のうち、本城町排水区の工事が排水計画見直し検討に時間を要し、令和2年度へ繰り越したことから、目標を達成できなかった。
- ・国の補正予算を活用した雨水工事や排水ポンプ車の購入については、早期に発注したことから、目標を達成できた。

【事業の成果】

- ・雨水管理総合計画に基づき、土橋や九戸浜などで雨水管渠を整備したことにより、浸水被害の軽減を図ることができた。
- ・雨水排水の現況調査を実施したことにより、浸水被害の原因を確認するとともに、対策方法の検討を行うことができた。
- ・市内3か所に水位計を設置したことにより、排水路の水位を把握するとともに、ホームページにより市民への情報発信を行うことができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

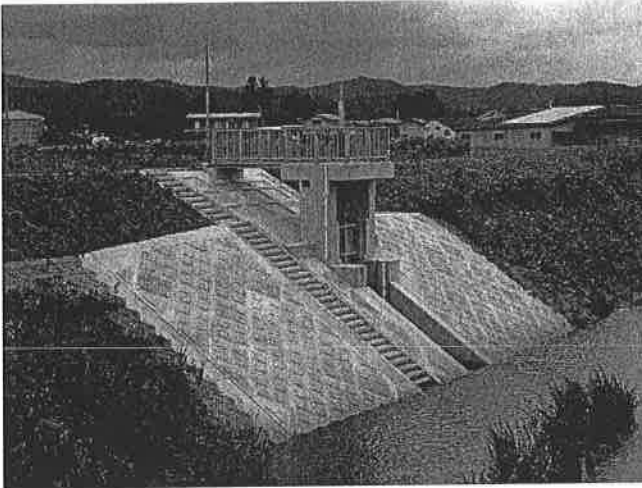
- ・雨水管理総合計画に基づく整備を着実に進めるため、更なる財源確保に努めるほか、近年の台風などによる豪雨は、ハード整備だけで被害の防止は困難であることから、ソフト対策を組み合わせながら浸水対策を実施していく必要がある。
- ・繰り越した本城町排水区の雨水工事については、河川管理者など関係機関と協議を進め、早期の完了に努めていく。

【執行残額について】

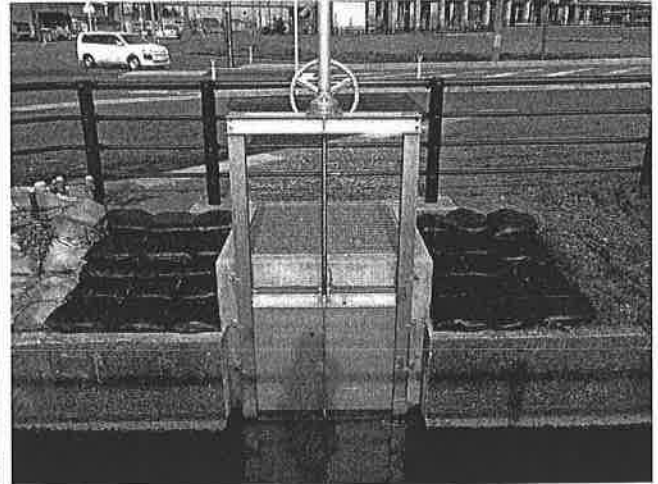
○事業未実施	8,869
委託料	8,329
工事請負費	540
○その他	23,084
・実績が見込みを下回ったもの	18,821
工事請負費	16,151
補償、補填及び賠償金	2,670
・事業実施に伴う端数残	1
委託料	1
・特例的支出（令和2年度下水道事業会計予算）に計上したもの	4,262

決算書 (P504～P505)	1款2項1目 公共下水道事業費	所管課等	下水道建設課
事業名	公共下水道雨水整備事業		

〔排水樋門新設工事（土橋地内）〕



〔雨水管渠新設工事（大和五丁目地内）〕



(単位：千円)

決算書 (P504～P505)	1款2項1目 公共下水道事業費	所管課等	下水道建設課
事業名	公共下水道汚水連携事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
28,834	27,731	13,865		13,400		466
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,103		363	740		

【目的】

- ・農業集落排水施設と公共下水道施設を統合し、効率的かつ効果的な汚水処理の実現を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・実施設計及び汚水工事を早期に発注し、年度内に完了する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・初田地区接続管渠

地形図作成業務委託		A=0.018km ²
実施設計業務委託	φ100～200mm	L=879.0m
汚水工事	φ100～200mm	L=117.8m

○目標達成状況

- ・設計及び工事を早期に発注し、年度内に完了したことから、目標を達成できた。

【事業の成果】

- ・柿崎区初田地区において、令和2年度中の統合に向けた事業進捗を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・汚水連携事業の実施にあたっては、費用対効果を十分に検証しながら実施していく必要がある。

【執行残額について】

- | | |
|-------------|-----|
| ○事業未実施 | 363 |
| ・補償、補填及び賠償金 | 363 |
| ○入札差金 | 740 |
| ・委託料 | 740 |

(単位：千円)

決算書 (P504～P505)	1款2項2目 特定環境保全公共下水道事業費	所管課等	生活排水対策課
事業名	浄化センター機能高度化事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
138,791	111,811	60,949		50,600	255 (分担金 繰越金)	7
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
26,055	925				925	

【目的】

- ・名立浄化センター長寿命化計画に基づき、設備の計画的な改築・更新を行い、施設全体の長寿命化を図り安定的な汚水処理を行う。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・長寿命化対策工事及び業務委託については、早期に発注し、計画どおりに完了する。

○実施内容、これまでの経過等

委託名	金額
名立浄化センター長寿命化対策(電気設備その1)工事監理業務委託 〔繰越明許〕	1,678
名立浄化センター長寿命化対策(電気設備その1)工事監理業務委託	2,212
名立浄化センター管理棟耐震補強工事監理業務委託〔繰越明許〕	2,970
名立浄化センター長寿命化対策(電気設備その2)工事監理業務委託	700

工事名	金額
名立浄化センター長寿命化対策(電気設備その1)工事〔繰越明許〕	45,400
名立浄化センター長寿命化対策(電気設備その1)工事	16,200
名立浄化センター管理棟耐震補強工事〔繰越明許〕	10,461
名立浄化センター管理棟耐震補強工事	17,268
名立浄化センター長寿命化対策(電気設備その2)工事	14,900

○目標達成状況

- ・長寿命化対策工事及び業務委託については、早期に発注し、当初計画どおりに完了することができた。

決算書 (P504～P505)	1款2項2目 特定環境保全公共下水道事業費	所管課等	生活排水対策課
事業名	浄化センター機能高度化事業		

【事業の成果】

・長寿命化対策工事により、老朽化した最終沈殿池の電気設備の改築更新と管理棟の耐震化を図り、処理施設の延命と効率的で安定的な運転を確保することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

・長寿命化対策工事と耐震補強工事については、施工範囲が重複するとともに、汚水処理施設の切替えが伴うため、工事の準備期間を十分見込み、早期発注を図る。

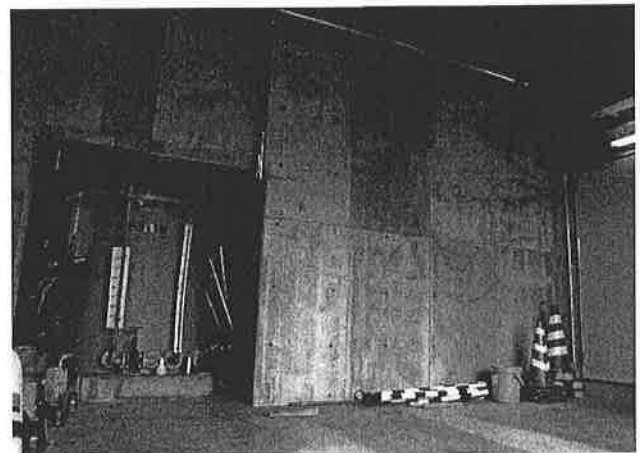
【執行残額について】

○その他	925
・実績が見込みを下回ったもの	925
旅費	11
工事請負費	914

[名立浄化センター長寿命化対策工事、耐震補強工事]



計装盤・監視盤更新
(電気設備)



耐震壁新設
(耐震補強)

(単位：千円)

決算書 (P504～P507)	1款2項2目 特定環境保全公共下水道事業費	所管課等	生活排水対策課 下水道建設課
事業名	特定環境保全公共下水道汚水連携事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
38,052	27,868	13,920		13,800		148
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
10,100	84		68		16	

【目的】

- ・農業集落排水施設と特定環境保全公共下水道施設を統合し、効率的かつ効果的な汚水処理の実現を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・実施設計及び工事について、早期に発注し、計画どおり年度内で完了する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・浦川原浄化センター 4,200
設備増築工事実施設計業務委託
- ・安塚地区接続管渠 23,668
実施設計業務委託 φ100mm L=508.0m
汚水工事 φ100mm L=169.0m

○目標達成状況

- ・安塚地区接続管渠の設計及び工事は、早期に発注し、計画どおり年度内に完了することができたものの、浦川原浄化センター設備増築工事実施設計業務委託は、計画を見直したため、年度内に完了することができなかったことから、目標を達成できなかった。

【事業の成果】

- ・浦川原浄化センターにおいて、一部、計画を見直したが、安塚地区における令和3年度中の統合に向けた事業進捗を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・汚水連携事業の実施にあたっては、費用対効果を十分に検証しながら推進する必要がある。

決算書 (P504～P507)	1 款 2 項 2 目 特定環境保全公共下 水道事業費	所管課等	生活排水対策課 下水道建設課
事業名	特定環境保全公共下水道汚水連携事業		

【執行残額について】

○事業未実施	68
旅費	10
使用料及び賃借料	58
○その他	16
・実績が見込みを下回ったもの	16
委託料	10
工事請負費	6

決算書 (P515～P536)	所管課等	生活排水対策課
-----------------	------	---------

上越市農業集落排水事業特別会計決算状況

《総括》

(単位：千円・%)

	平成30年度	令和元年度	前年度対比	
			増減額	増減率
歳入総額	2,721,572	2,733,167	11,595	0.4
歳出総額	2,721,572	2,718,019	△ 3,553	△ 0.1
歳入歳出差引額	0	15,148		
翌年度へ繰越すべき財源	0	0		
実質収支額	0	15,148		

《歳入》

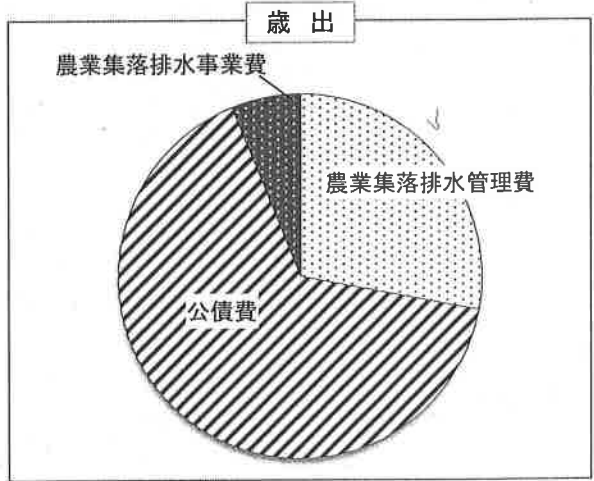
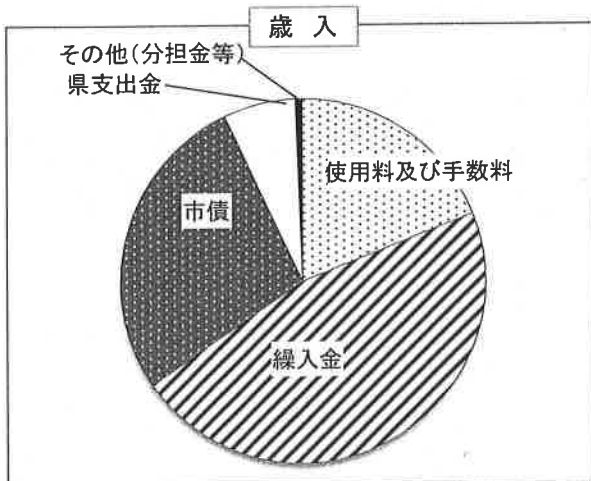
(単位：千円・%)

項目	決算額	構成比
分担金及び負担金	9,762	0.4
使用料及び手数料	519,987	19.0
県支出金	173,966	6.4
繰入金	1,268,747	46.4
繰越金	0	0.0
諸収入	7,105	0.2
市債	753,600	27.6
合計	2,733,167	100.0

《歳出》

(単位：千円・%)

項目	決算額	構成比
農業集落排水管理費	759,855	28.0
農業集落排水事業費	165,809	6.1
公債費	1,792,355	65.9
合計	2,718,019	100.0



○整備状況

	平成30年度	令和元年度	増減
A 計画及び供用開始済面積 (ha)	2,954.6	2,954.6	0.0
B 計画区域内人口 (人)	31,954	31,424	△ 530
C 供用人口 (人)	31,954	31,424	△ 530
D 進捗率 C/B (%)	100.0	100.0	0.0
E 接続人口 (人)	29,891	29,464	△ 427
F 接続率 E/C (%)	93.5	93.8	0.3

○農業集落排水施設使用料収納状況

(現年度分)

(単位：千円・%)

年度	調定額	収入額	収納率
平成27年度	565,321	562,842	99.6
平成28年度	604,593	602,494	99.7
平成29年度	594,621	592,626	99.7
平成30年度	586,563	584,312	99.6
令和元年度	578,185	517,621	89.5

※令和元年度は打ち切り決算を行ったことから、令和2年3月調定分の収入を含まない

《歳入》

(単位：千円)

項目	合計	合併前上越市	安塚区	牧区	柿崎区	大潟区	頸城区
分担金及び負担金	9,762	7,422	0	0	0	0	1,170
使用料及び手数料	519,987	208,735	25,743	11,048	9,164	11,031	57,728
県支出金	173,966	87,008	0	4,934	0	0	28,000
繰入金	1,268,747	-	-	-	-	-	-
繰越金	0	0	0	0	0	0	0
諸収入	7,105	2,676	0	0	208	0	196
市債	753,600	239,000	26,550	17,900	13,450	11,950	103,650
合計	2,733,167	544,841	52,293	33,882	22,822	22,981	190,744

項目		吉川区	中郷区	板倉区	清里区	三和区	名立区
分担金及び負担金		390	0	0	0	780	0
使用料及び手数料		54,647	9,793	1,257	37,927	79,951	12,963
県支出金		53,800	0	0	0	224	0
繰入金		-	-	-	-	-	-
繰越金		0	0	0	0	0	0
諸収入		1,844	0	0	0	2,181	0
市債		154,250	14,250	3,100	48,450	91,000	30,050
合計		264,931	24,043	4,357	86,377	174,136	43,013

《歳出》

(単位：千円)

項目	合計	合併前上越市	安塚区	牧区	柿崎区	大潟区	頸城区
農業集落排水管理費	759,855	366,994	21,937	16,211	8,546	20,532	70,037
農業集落排水事業費	165,809	0	0	0	0	0	57,163
公債費	1,792,355	650,854	77,388	52,203	27,799	24,387	184,041
合計	2,718,019	1,017,848	99,325	68,414	36,345	44,919	311,241

項目		吉川区	中郷区	板倉区	清里区	三和区	名立区
農業集落排水管理費		88,588	10,794	2,466	37,482	93,864	22,404
農業集落排水事業費		108,646	0	0	0	0	0
公債費		260,436	41,403	8,646	123,174	256,078	85,946
合計		457,670	52,197	11,112	160,656	349,942	108,350

《整備状況》

	合計	合併前上越市	安塚区	牧区	柿崎区	大潟区	頸城区
A 計画及び供用開始済面積 (ha)	2,954.6	972.1	227.5	72.0	51.0	47.0	335.0
B 計画区域内人口 (人)	31,424	11,181	1,487	865	531	775	3,766
C 供用人口 (人)	31,424	11,181	1,487	865	531	775	3,766
D 進捗率 C/B (%)	100	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
E 接続人口 (人)	29,464	10,349	1,346	583	523	724	3,644
F 接続率 E/C (%)	93.8	92.6	90.5	67.4	98.5	93.4	96.8

		吉川区	中郷区	板倉区	清里区	三和区	名立区
A 計画及び供用開始済面積 (ha)		377.1	63.0	9.0	189.6	360.3	251.0
B 計画区域内人口 (人)		3,284	592	97	2,528	5,441	877
C 供用人口 (人)		3,284	592	97	2,528	5,441	877
D 進捗率 C/B (%)		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
E 接続人口 (人)		3,197	592	97	2,494	5,175	740
F 接続率 E/C (%)		97.4	100.0	100.0	98.7	95.1	84.4

○特例の支出を含む予算執行状況

(単位：千円)

令和元年度予算事業名 (農業集落排水事業特別会計)	令和元年度 予算現額 ①	令和元年度 執行額 ②	令和2年度 繰越額 ③	令和元年度 執行残額 ④ (①-②-③)	特例の支出 予算額 ⑤	特例の支出 執行額 ⑥	合計執行額 ⑦ (②+⑥)	実質 執行残額 ⑧ (①-③-⑦)
農業集落排水総務費職員人件費	42,804	42,258	-	546	322	381	42,639	165
賦課徴収費	18,084	18,077	-	7	-	-	18,077	7
排水設備設置促進事業	3,249	1,441	-	1,808	-	-	1,441	1,808
排水処理施設管理費	767,203	698,079	-	69,124	61,533	59,455	757,534	9,669
排水処理施設機能強化対策事業吉川区吉川中部地区	108,670	108,646	-	24	-	-	108,646	24
排水処理施設機能強化対策事業頸城区頸城中部地区	58,300	57,163	-	1,137	-	-	57,163	1,137
地方債元金償還費	1,557,749	1,557,747	-	2	-	-	1,557,747	2
地方債利子及び一時借入金利子	235,958	234,608	-	1,350	-	-	234,608	1,350
予備費	1,000	0	-	1,000	-	-	0	1,000
合計	2,793,017	2,718,019	0	74,998	61,855	59,836	2,777,855	15,162

(単位：千円)

決算書 (P528～P529)	1款1項1目 農業集落排水総務費	所管課等	生活排水対策課
事業名	排水設備設置促進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,249	1,441				1,409 (諸収入)	32
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,808				1,808	

【目的】

- ・農業用排水の水質保全と農村地域の生活環境改善を図るため、農業集落排水への接続を促進する。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・助成制度及び融資制度を周知するとともに、集落排水組合と連携し接続に対する啓発を行うことにより、接続率の向上を図る。

○実施内容、これまでの経過等

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
排水設備設置 費助成金	生活保護世帯	件数	0	0	0
		金額(円)	0	0	0
	住民税非課税世帯	件数	0	0	0
		金額(円)	0	0	0
	合 計	件数	0	0	0
		金額(円)	0	0	0
排水設備設置 資金融資	預託件数		10	7	6
	預託金額(円)		2,344,870	1,795,208	1,408,639
	うち新規	件数	0	0	0
		金額(円)	0	0	0
利子補給補助 金	補助件数		5	4	4
	補助金額(円)		42,047	37,607	32,638
農業集落排水事業接続率(%)		92.6	93.5	93.8	

○目標達成状況

- ・集落排水管理組合と連携した啓発により、処理区域内へ転入した26件が新たに接続し、接続世帯の増加を図ることができた。

決算書 (P528～P529)	1 款 1 項 1 目 農業集落排水総務費	所管課等	生活排水対策課
事業名	排水設備設置促進事業		

【事業の成果】

- ・ 接続推進の効果により接続率は前年度から 0.3 ポイント増の 93.8%となった。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・ 今後も処理区域内の定住人口は減少することが見込まれるが、文書による接続要請や集落排水管理組合と連携した働きかけを継続し、未接続世帯を縮減させることで接続率の向上を図る。

【執行残額について】

○その他	1,808
・ 実績が見込みを下回ったもの	1,808
負担金補助及び交付金	636
貸付金	1,172

(単位：千円)

決算書 (P528～P529)	1款1項2目 農業集落排水施設管理費	所管課等	生活排水対策課
事業名	排水処理施設管理費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
767,203	698,079		82,000		522,974 (使用料、諸収入)	93,105
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	69,124			190	68,934	

【目的】

- ・農業集落排水処理施設の適切な維持管理及び生活排水処理を行い、公共用水域の水質保全を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・浄化槽法に基づく排水処理施設の適切な維持管理を行い、水質汚濁防止法に基づく放流水質の排水基準を遵守するとともに、放流水質の自主基準を達成する。
- ・機能強化等調査を早期に発注し、年度内に完了する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・農業集落排水処理施設(48施設)の適切な維持管理及び生活排水処理を行った。
- ・放流水質の自主検査を毎月実施し、排水基準を遵守した。
- ・主な実施内容

	区分	事業内容	事業費
委託	施設管理委託	排水処理場管理業務(48施設)	309,267
	水質検査委託	排水処理場水質検査業務(48施設)	4,188
	管渠清掃委託	安塚区(和田地区ほか)	631
	排水処理施設機能強化等調査業務委託	機能診断業務(41施設)	83,974
	汚泥減容化委託	汚泥減容化装置管理業務(14施設)	25,038
	管路調査委託	農業集落排水台帳作成業務(有田地区ほか)	2,332
工事	管路施設移設工事	マンホールポンプ制御盤移設工事 (保倉東部地区、岡木地区)	3,359

決算書 (P528～P529)	1款1項2目 農業集落排水施設管理費	所管課等	生活排水対策課
事業名	排水処理施設管理費		

○目標達成状況

- ・浄化槽法に基づく排水処理施設の適切な維持管理を行うとともに、放流水質を自主基準値内に抑えることができた。結果、水質汚濁防止法に基づく放流水質の排水基準を遵守し、目標を達成することができた。
- ・機能強化等調査を年度内に完了することができた。

【事業の成果】

区分	BOD (検査頻度 1回/月)			SS (検査頻度 1回/月)		
	法基準 (水質汚濁防止法)	自主基準値	年間 平均値	法基準 (水質汚濁防止法)	自主基準値	年間 平均値
合併前上越市(12施設)	160 mg/L 以下 ※関川水系 に排水する 施設は40 mg /L 以下	20 mg/L 以下	2.2mg/L	200 mg/L 以下 ※関川水系 に排水する 施設は90 mg /L 以下	50 mg/L 以下	0.7mg/L
安塚区(2施設)		20 mg/L 以下	2.6mg/L		50 mg/L 以下	3.1mg/L
牧区 (1施設)		20 mg/L 以下	2.1mg/L		50 mg/L 以下	1.0mg/L
柿崎区(1施設)		20 mg/L 以下	8.1mg/L		50 mg/L 以下	3.3mg/L
大潟区(5施設)		20 mg/L 以下	4.6mg/L		50 mg/L 以下	1.7mg/L
頸城区(4施設)		20 mg/L 以下	1.7mg/L		50 mg/L 以下	0.8mg/L
吉川区(8施設)		20 mg/L 以下	1.8mg/L		50 mg/L 以下	1.2mg/L
中郷区(1施設)		20 mg/L 以下	1.8mg/L		50 mg/L 以下	2.9mg/L
板倉区(1施設)		20 mg/L 以下	3.5mg/L		50 mg/L 以下	3.3mg/L
清里区(4施設)		20 mg/L 以下	5.0mg/L		50 mg/L 以下	3.5mg/L
三和区(6施設)		20 mg/L 以下	3.4mg/L		50 mg/L 以下	2.9mg/L
三和区平成団地		40 mg/L 以下	11.8mg/L		50 mg/L 以下	10.8mg/L
名立区(2施設)		20 mg/L 以下	1.5mg/L		50 mg/L 以下	1.5mg/L
合計 (48施設)			-		-	

BOD：生物化学的酸素要求量（水中の汚濁物質を微生物が分解するために必要な酸素量）

SS：浮遊物質（水中に浮遊している汚れ）

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・農業集落排水処理施設の汚水処理機能を保持するため、計画的な機器の更新や施設の改修に当たり、補助事業である団体営農業集落排水事業を導入するとともに、将来を見据えた公共下水道への広域的な汚水連携を視野に入れ、今後も検討を重ねていく必要がある。

決算書 (P528～P529)	1款1項2目 農業集落排水施設管理費	所管課等	生活排水対策課
事業名	排水処理施設管理費		

【執行残額について】

○入札差金	190
委託料	173
工事請負費	17
○その他	68,934
・実績が見込みを下回ったもの	7,399
共済費	1
旅費	11
需用費	1,094
役務費	726
委託料	4,793
使用料及び貸借料	555
原材料費	219
・事業実施に伴う端数残	2
報酬	1
公課費	1
・特例的支出（令和2年度下水道事業会計予算）に計上したもの	61,533

(単位：千円)

決算書 (P530～P531)	1款2項1目 農業集落排水事業費	所管課等	生活排水対策課
事業名	排水処理施設機能強化対策事業吉川区吉川中部地区		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
108,670	108,646		53,800	53,800		1,046
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	24			24		

【目的】

- ・農業集落排水処理施設の安定的な機能を確保するため、経年劣化の対応策として処理施設等の機器更新及び改修工事を行い、施設全体の長寿命化を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・処理施設等の機器更新及び改修工事を年度内に完了する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・全体事業計画(平成30年度～令和元年度)

平成30年度	令和元年度
・実施設計業務委託 7,506	・施工監理委託 1,386 ・機能強化対策工事 107,260 (ばっ気攪拌装置、真空ポンプ、圧送ポンプなど)

○目標達成状況

- ・予定していた機器の更新及び改修工事が年度内に完了したことから、目標を達成することができた。

【事業の成果】

- ・機能強化対策工事の完了により、処理施設の安定的な機能が確保された。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・今後も適切な施設の管理運営を行い、水質保全及び農村地域の生活環境の維持を図っていく。

【執行残額について】

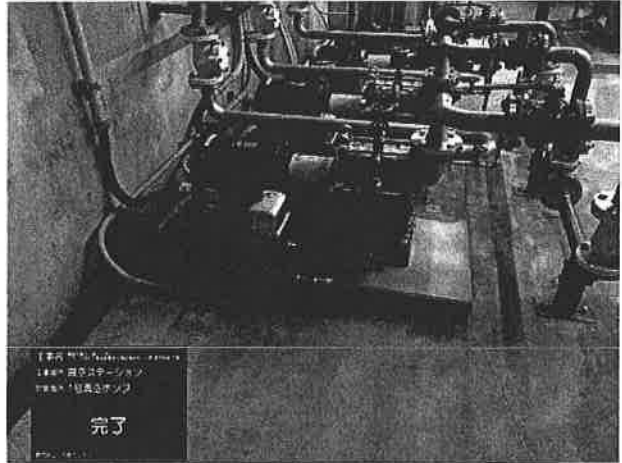
- 入札差金 24
- 委託料 24

決算書 (P 530～P 531)	1 款 2 項 1 目 農業集落排水事業費	所管課等	生活排水対策課
事業名	排水処理施設機能強化対策事業吉川区吉川中部地区		

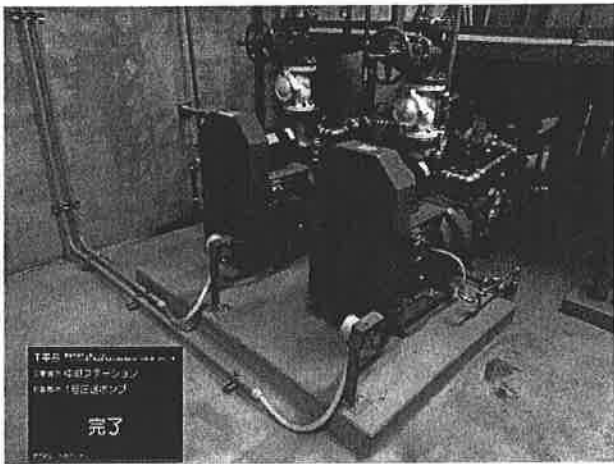
[吉川区吉川中部地区農業集落排水処理施設機能強化対策工事]



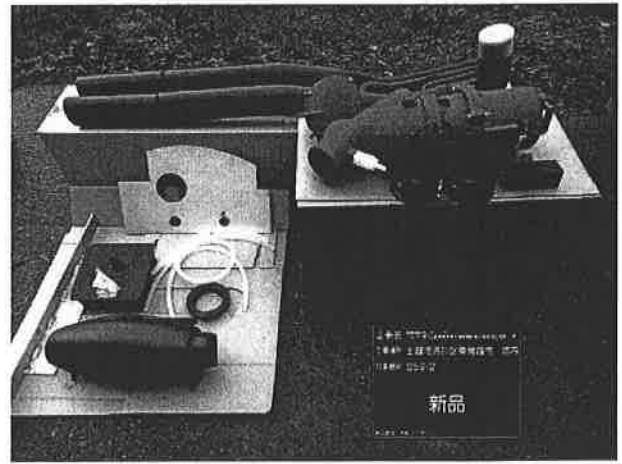
ばっ気攪拌装置更新
(処理施設 機械設備工事)



真空ポンプ更新
(真空ステーション 機械設備工事)



圧送ポンプ更新
(中継ステーション 機械設備工事)



真空弁更新
(真空弁ユニット 機械設備工事)

(単位：千円)

決算書 (P530～P531)	1款2項1目 農業集落排水事業費	所管課等	生活排水対策課
事業名	排水処理施設機能強化対策事業頸城区頸城中部地区		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
58,300	57,163		28,000	28,000		1,163
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,137			1,137		

【目的】

- ・農業集落排水処理施設の安定的な機能を確保するため、経年劣化の対応策として処理施設等の機器更新及び改修工事を行い、施設全体の長寿命化を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・改修工事に係る実施設計及び処理施設等の機器更新を年度内に完了する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・全体事業計画(令和元年度～令和2年度)

令和元年度		令和2年度	
・実施設計業務委託	5,775	・施工監理委託	1,760
・機能強化対策工事 (ばっ気攪拌装置、破碎機など)	51,388	・機能強化対策工事 (汚泥処理制御盤、非常通報装置など)	84,000

○目標達成状況

- ・改修工事に係る実施設計及び令和元年度に予定していた機器の更新が年度内に完了したことから、目標を達成することができた。

【事業の成果】

- ・機能強化対策工事の実施により、処理施設の安定的な機能が確保された。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

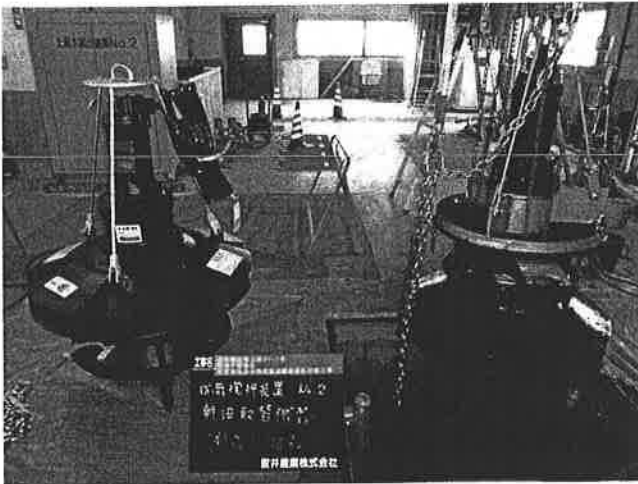
- ・引き続き、機能強化対策工事を実施し、安定的な機能確保と施設の長寿命化を図っていく必要がある。

決算書 (P530～P531)	1款2項1目 農業集落排水事業費	所管課等	生活排水対策課
事業名	排水処理施設機能強化対策事業 頸城区頸城中部地区		

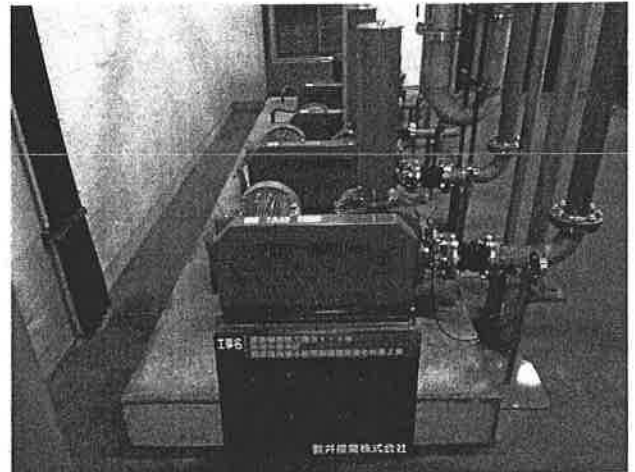
【執行残額について】

○入札差金 1,137
 委託料 825
 工事請負費 312

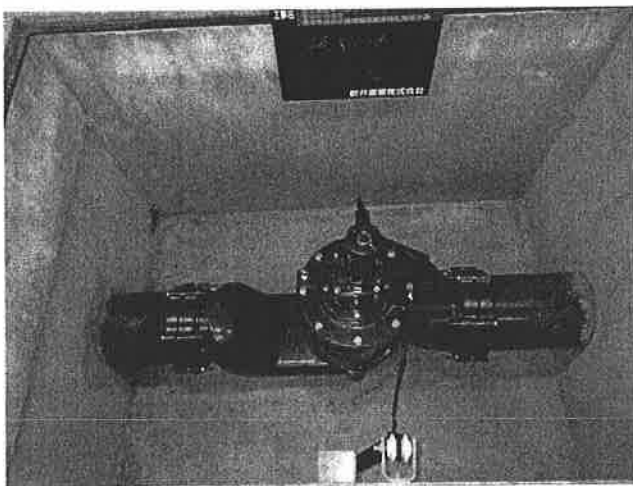
〔頸城区頸城中部地区農業集落排水処理場機能強化対策工事〕



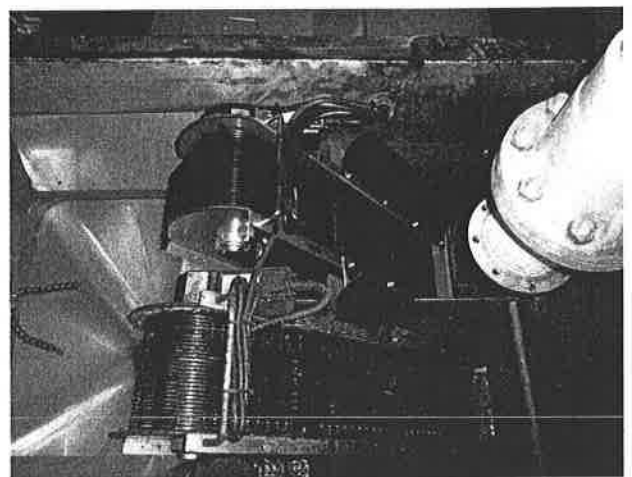
ばっ気攪拌装置更新
(汚水処理場 機械設備工事)



回分槽ブロー更新
(汚水処理場 機械設備工事)



破碎機更新
(汚水処理場 機械設備工事)



自動微細目スクリーン更新
(汚水処理場 機械設備工事)

決算書 (P607～P620)	所管課等	生活排水対策課
-----------------	------	---------

上越市浄化槽整備推進事業特別会計決算状況

《総括》

(単位：千円・%)

	平成30年度	令和元年度	前年度対比	
			増減額	増減率
歳入総額	10,807	11,003	196	1.8
歳出総額	10,807	4,594	△ 6,213	△ 57.5
歳入歳出差引額	0	6,409		
翌年度へ繰越すべき財源	0	0		
実質収支額	0	6,409		

《歳入》

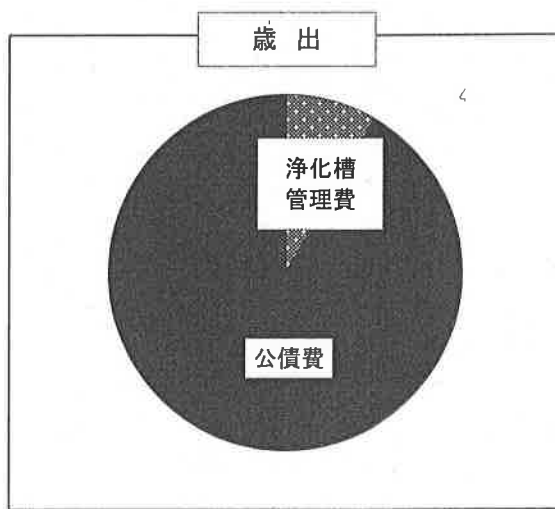
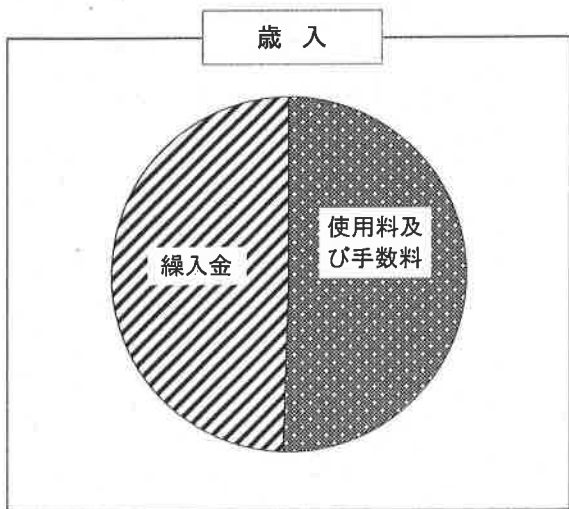
(単位：千円・%)

項目	決算額	構成比
使用料及び手数料	5,562	50.5
繰入金	5,441	49.5
合計	11,003	100.0

《歳出》

(単位：千円・%)

項目	決算額	構成比
浄化槽管理費	381	8.3
公債費	4,213	91.7
合計	4,594	100.0



○西部中山間地区浄化槽整備推進事業における整備実績

年度	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元
A 対象世帯数(世帯)	659	630	625	623	623	612	611	611	616	612	612	602	595	583	574	561
B 市設置基数(基)	33	29	11	6	7	8	5	10	7	4	4	0	0	0	0	0
C 市累積設置基数(基)	33	62	73	79	86	94	99	109	115	119	123	123	122	122	123	123
D 事業外設置累積基数(基)	39	39	36	35	36	39	41	41	41	41	43	45	46	48	48	48
E 汚水処理率(C+D)/A(%)	10.9	16.0	17.4	18.3	19.6	21.7	22.9	24.5	25.3	26.1	27.1	27.9	28.2	29.2	29.8	30.5

※ C及びDは休止又は廃止した浄化槽を含まない。

○特例の支出を含む予算執行状況

(単位：千円)

令和元年度予算事業名 (浄化槽整備推進事業特別会計)	令和元年度 予算現額 ①	令和元年度 執行額 ②	令和2年度 繰越額 ③	令和元年度 執行残額 ④ (①-②-③)	特例の支出 予算額 ⑤	特例の支出 執行額 ⑥	合計執行額 ⑦ (②+⑥)	実質 執行残額 ⑧ (①-③-⑦)
浄化槽施設管理費	8,333	381	-	7,952	7,900	7,900	8,281	52
地方債元金償還金	2,907	2,906	-	1	-	-	2,906	1
地方債利子及び一時借入金 利子	1,308	1,307	-	1	-	-	1,307	1
予備費	300	0	-	300	-	-	0	300
合計	12,848	4,594	0	8,254	7,900	7,900	12,494	354

(単位：千円)

決算書 (P618～P619)	1 款 1 項 1 目 浄化槽施設管理費	所管課等	生活排水対策課
事業名	浄化槽施設管理費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
8,333	381				381 (使用料)	
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	7,952				7,952	

【目的】

- ・市が設置した合併処理浄化槽の維持管理を適切に行うことにより、生活環境の保全、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・浄化槽法に基づき、合併処理浄化槽の法定検査や点検、清掃などの維持管理を適切に行う。

○実施内容、これまでの経過等

- ・維持管理業務委託

地区	町内	基数	委託金額(円)
谷浜地区北部	鍛冶免分、西戸野、花立	16	889,760
谷浜地区南部	西鳥越、西山寺、下綱子、西横山、中桑取、高住、小池	24	1,325,952
谷浜地区西部	有間川、丹原、鍋ヶ浦、吉浦、茶屋ヶ原	33	1,836,198
桑取	大淵、皆口、増沢、西吉尾、土口、北谷	20	1,099,192
下正善寺・中正善寺・中ノ俣	下正善寺、中正善寺、中ノ俣	17	905,272
上正善寺	上正善寺	13	695,552
合計		123	6,751,926

※124基のうち下正善寺の1基が休止中

※維持管理業務委託の全額を特例的支出(令和2年度下水道事業会計予算)に計上

決算書 (P618～P619)	1 款 1 項 1 目 浄化槽施設管理費	所管課等	生活排水対策課
事業名	浄化槽施設管理費		

○目標達成状況

- ・浄化槽法に基づく合併処理浄化槽の法定検査や点検、清掃などを実施し、適切な維持管理を行うことができた。

【事業の成果】

- ・生活排水を適正に処理することにより、事業実施地域の生活環境の改善、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全に寄与することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・引き続き、市が設置した合併処理浄化槽の機能が正常に保たれるよう法定検査や点検、清掃などの維持管理を適切に行う。

【執行残額について】

○その他	7,952
・実績が見込みを下回ったもの	52
需用費	1
役務費	1
委託料	50
・特例的支出（令和2年度下水道事業会計予算）に計上したもの	7,900